

### 秋の収穫が楽しみ

「カレイライスの食材を栽培しよう」と5月15日、早来保育園の園児たちがはだしの広場の一角に設けられたカレイ畑にじゃがいもの種芋を植えました。

晴天に恵まれたこの日、66名の園児たちは、シルバー人材センター早来支所からの講師の指導のもと、収穫の秋に美味しいカレイライスが食べられることを楽しみにしながら、約40kgの種芋を植えました。



### アサヒメロン5玉入り 20万円

アサヒメロンの初出荷が5月10日、野菜集出荷場で行われました。今年は春先からの低温や日照不足など厳しい環境の中での栽培となりましたが、例年とおおり8ケースが出荷されました。

11日に行われた初せりでは5玉入り1箱20万円の値が付きました。

これから10月末まで出荷される予定で、追分アサヒメロン組合では2億9000万円の出荷を目標にしています。



### 地域子ども会で廃品回収を実施

ごみの減量とリサイクル運動の大切さを知ってもらい、子ども会活動の資金作りを図る廃品回収を追分地域の子ども会が行いました。

各家庭で仕分し保管してきた空きビンや新聞紙などを子どもと育成者が集めに行きます。春先は、4つの子ども会が行い、5月28日が最終日となりました。

「ビールビンや一升ビンは高く引き取ることができののだが、最近ではアルミ缶や紙パックに変ってきている」と古物商の業者が残念そうに話していました。雨天の中、回収した古紙や空ビンなどは大型トラック3台分でした。

これから早来地域の子ども会でも計画されています。ごみとして出さず子ども会の廃品回収に皆さんも協力しましょう。

